

行政評価シート(事後評価)

コード 8-4-1	事務事業名 雨水溢水対策事業	所管部課 都市整備部下水道課
--------------	-------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	集中豪雨に伴う道路冠水等、市内溢水地域の解消を図る。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等			
	集中豪雨に伴う道路冠水等、市内溢水地域を調査・把握するとともに、溢水箇所に応じた浸透・貯留槽の設置や既設管改修工事等を実施している。事業着手は平成12年度だが、平成16年度からは同年に策定された総合計画に位置づけ、「安全で快適に暮らすまちづくり」をテーマに、実施計画に基づく3か年事業として毎年度見直しを行っている。			
事業開始時期	12	年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			94,379	273,464	203,998	524,408
財源	国庫支出金・都支出金	千円		52,200	56,400	3,000	146,000
	地方債			198,800	106,200	320,100	
	内: 其他 ( )						
認識	一般財源		42,179	18,264	94,798	58,308	
所要人員(B)		人	1.29	1.50	1.50	2.00	
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	10,559	12,242	12,242	16,322	
臨時職員等賃金(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	104,938	285,706	216,240	540,730	
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ ( 対策済箇所数 )		千円	104938	142853	54060	#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	対策済箇所数	実績値	か所	1	2	4	
	対策流量	実績値	m <sup>3</sup>	2,157	2,127	12,261	
	(指標の説明・数値変化の理由 など)						
成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
一 次	対策済箇所数	目標値		2	4	3	
		実績値	か所	1	2	4	
二 次	雨水溢水の発生箇所数	目標値			46	43	
		実績値	か所	45	50	46	
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
近年の異常気象により、1時間当り50mmを超える集中豪雨が多発しているため、溢水箇所が増加傾向にあり、事業効果が評価されにくい(17年度に6箇所、18年度に7箇所増えている)。なお、平成19年度中に短時間集中豪雨が発生しなかったため、平成20年度の溢水発生箇所数は減っている。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	溢水地域周辺住民からの対策要望が多く寄せられている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	西東京市と同様に計画的な事業を実施しているのは、近隣市では武蔵野市がある。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 8-4-1	事務事業名 雨水溢水対策事業	所管部課 都市整備部下水道課
--------------	-------------------	-------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>都市型集中豪雨が多発し降雨量も増加傾向にあるため、市内の溢水箇所が増え続けている。今後は、河川改修事業との整合を図りつつ、公共下水道事業との連携を見据えた事業を進める必要がある。なお、平成20年度では、市内を縦断する調布・保谷線の整備に合わせ、市全域の公共下水道雨水計画の見直しを図るとともに、溢水対策の実実施計画についても再検討する。</p> <p>また、補助金等の財源確保についても努力を続けているが、排水区域面積や被害件数の規模が補助要件に適合しないため、なかなか難しい状況にある。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成18年度からの継続評価であり、個別事業の緊急性を見極めるような計画立案の検討が、依然として課題となっている。</p> <p>市内の溢水状況は、西3・2・6号調布保谷線の整備により大きく変化する可能性がある。一次評価記載のとおり、その整備にあわせた溢水対策の実実施計画、さらには公共下水道雨水計画の見直しについて検討されたい。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>二次評価記載のとおり、西3・2・6号調布保谷線の整備を見越した溢水対策の実実施計画の策定と、中長期的視点に立った公共下水道雨水計画の見直しについて、引き続き努力されたい。</p>